

第1期期間（平成18年度～22年度）での不良債務の解消の実現により、第2期期間の5年間（平成23年度～27年度）においては、「日本の医療をリードする病院をめざす」という理念のもと、高度医療機器の導入や病院の建替え整備、優れた人材の確保・育成など第一期中に抑制してきた診療機能充実のための基盤づくりに積極的に取り組んでいる。また、各病院の専門性を発揮し、診療機能の充実

## ■ 医療の質の向上

- 各病院における、診療機能の充実強化
  - 急性期・総合医療センター
    - ・ER部門の開設【H26年度～】や、二次救急への参画【H24年度～】による救急からリハビリまで一貫した診療体制の構築
    - 【27年度目標】一般病棟のリハビリテーション実施単位数 120,000単位（26年度実績 101,392単位）
  - 呼吸器・アレルギー医療センター
    - ・結核患者の受入れや肺がん患者への集学的治療の提供など、呼吸器疾患に対する高度専門医療の提供
    - ・アトピー・アレルギー疾患に対する専門医療の提供
    - 【27年度目標】広範性／難治性アトピー性皮膚炎患者数 4,000人（26年度実績 3,120人）
  - 精神医療センター
    - ・医療型障害児入所施設として、自閉症児の受入れ及び確定診断の実施
    - ・病院建替により心神喪失者等医療観察法による病床を整備し（5床⇒33床）入院対象者の受入拡大【H24年度末～】
    - 【27年度目標】訪問看護実施件数 5,000件（26年度実績 4,765件）
  - 成人病センター
    - ・都道府県がん診療連携拠点病院として、難治性がん・希少がんを中心とした高度がん医療を推進
    - ・患者の症状に合わせ、放射線治療等最適な治療法を選択する集学的治療を実施
    - 【27年度目標】がん手術件数 3,694人（26年度実績 3,076人）
  - 母子保健総合医療センター
    - ・OGCS（産婦人科診療相互援助システム）、NMCS（新生児診療相互援助システム）の基幹病院としてコーディネート及び搬送、受入れを実施
    - ・総合周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊産婦や超低出生体重児などの受入れ、開心術など難度の高い手術の実施など、高度専門医療の実施
    - 【27年度目標】新生児（生後28日以内）に対する手術件数 120件（26年度実績129件）

### ■ 優秀な医療スタッフの充実（平成27年3月1日現在数値）

医師	23年度	444人	⇒	26年度	468人
看護師	23年度	2,170人	⇒	26年度	2,375人
医療技術職	23年度	474人	⇒	26年度	519人

### ■ 地域連携の充実強化

地域の医療機関との役割分担のもと、連携の充実・強化

	中期計画	H23年度	H26年度	H27年度
(紹介率)	目標値	実績	実績	計画
急性期C	80.0%	78.9%	⇒ 90.3%	90.0%
呼吸器C	58.0%	55.1%	⇒ 71.4%	70.0%
精神C	—%	35.7%	⇒ 60.7%	—%
成人病C	90.0%	91.8%	⇒ 98.1%	97.0%
母子C	80.0%	78.5%	⇒ 93.4%	88.0%

### ■ 施設及び高度医療機器の計画的な整備

○平成22年度に策定した医療機器整備計画に基づく高度医療機器の計画的な整備と活用

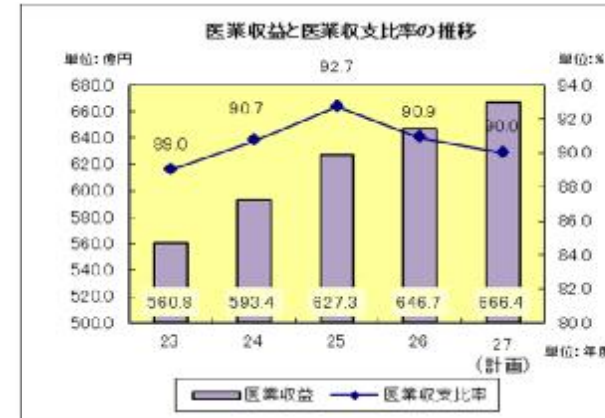
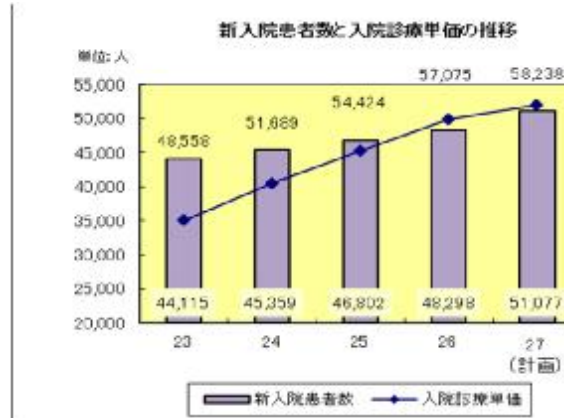
高度医療機器延べ患者数5病院合計(単位:人)※PET-CTは急性期Cのみ

機器種別	平成23年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
CT	55,948	66,338	66,600
MRI	16,379	18,246	18,380
アンギオ	3,919	5,266	5,010
RI	5,299	5,123	5,150
リニアック	37,036	44,475	43,590
PET-CT	—	544	600

## ■ 患者・府民サービスの向上

- 患者満足度の向上
    - 患者満足度調査の前回比較
      - ・平成23年度～平成26年度において満足度調査を実施。26年度の調査の結果は、「全体としてこの病院に満足している」と答えたものの割合が平成23年度調査より上昇。
      - 設問：全体としてこの病院に満足している（入院）
- |      | (H23) (%) | (H26) (%) | 差 (%) |
|------|-----------|-----------|-------|
| 急性期C | 90.8      | 91.5      | 0.7   |
| 呼吸器C | 90.1      | 93.5      | 3.4   |
| 精神C  | 64.6      | 79.7      | 15.1  |
| 成人病C | 93.0      | 98.9      | 5.9   |
| 母子C  | 92.9      | 95.2      | 2.3   |
- 患者満足度を向上させる取組
    - 外部評価の活用
      - ・上記の病院患者満足度調査に加え、(財)日本医療機能評価機構の病院評価及びNPO法人による院内見学の実施など外部の評価を受け、サービス意識の向上、さらなる改善を実施。
    - 患者サービスへの取組
      - ・外来待ち時間対策として、診療予約時間枠の30分単位での設定や、急性期Cにおける5分単位のピンポイント予約の導入【H26年度～】、成人病CにおけるQuick in外来（その日のうちに結果の出る外来）【H26年度～】、電子案内表示板などによる診療状況の情報提供、患者への声かけ、医療スタッフの接遇の向上、外来待合室の改修などに取り組んだ。
      - ・トイレ・浴室の改修、病室の個室化など療養環境の向上のための院内施設の改修に取り組んだ。
      - ・駐車場の整備【H24年度母子C、H25年度精神C】
      - ・ファミリーハウスの整備【H25年度母子C】
      - ・コンビニエンスストア等の整備【H23年度母子C、平成25年度呼吸器C】など

## ■ 財務データ



### 単年度資金収支の状況(億円)

	計画 (各年度)	実績 (決算)
23年度	8.6	13.4
24年度	7.8	18.5
25年度	0.5	17.9
26年度	0.5	3.8
27年度 (計画)	▲ 23.6	

※ 27年度は成人病Cの新病院整備費用11.6億円や重粒子線施設の用地取得費用43億円を含むため、資金収支は赤字となる。

## ■ その他業務に関する重要事項等

- 精神医療センター新病院整備【H24年度竣工】
- 母子保健総合医療センター新手術棟整備【H25年度竣工、H26年度運用開始】
- 成人病センター新病院整備【H26年度～本体工事に着手 H28年度竣工予定】
- 大阪府市共同住吉母子医療センター（仮称）整備【H26年度～実施設計業務に着手】